

スール・スケリー島の大アザラシ

1 娘がひとり

「ああ 坊や良い子ね

お前のお父さんは誰かしら

いつたい どこに住んでいるのかしら」

2 あるとき男が 娘のベッドの側に立ちました

本当に気味の悪い男でした

「この俺は みにくい顔をしているが

その子の父親だ

3 「俺は 陸おかの上では人間で

海の中ではアザラシだ

俺の住まいは 陸おかからずっと離れた

スール・スケリー島の海おかの中」

4 「ああ なんということ

ああ こんなことがあるなんて

スール・スケリー島の大アザラシがやつて来て

私は子供を産ませたなんて」

5 すると男は 金貨の袋を取り出して

娘の膝に置いて言いました

「幼い子供を渡しておくれ

これは これまでの養育費

6 「夏の日に 太陽が

石ころ一つ一つを照らすとき

俺は 幼い子供を連れ出して

海の渡り方を教えよう

7 「おまえは 腕自慢の鉄砲撃ちと結婚する

そいつの腕前は 百発百中

そいつが放つ一発が

幼い子供と俺に命中だ」

(近藤和子訳)